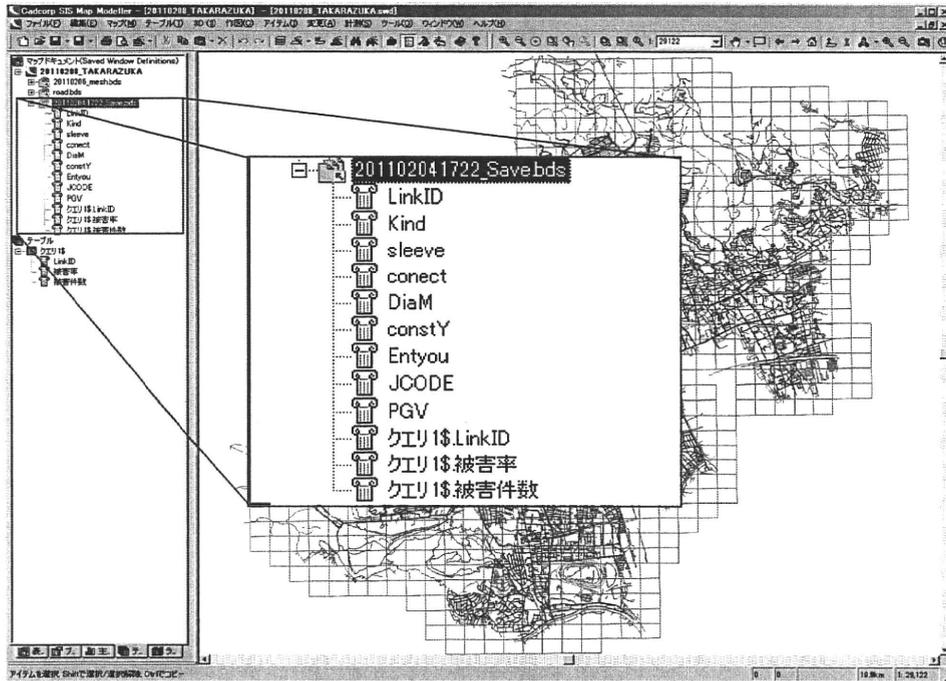


テーブル接続によって、計算結果が GIS の図形データにリンクされ、図形の属性として扱うことが可能になる。

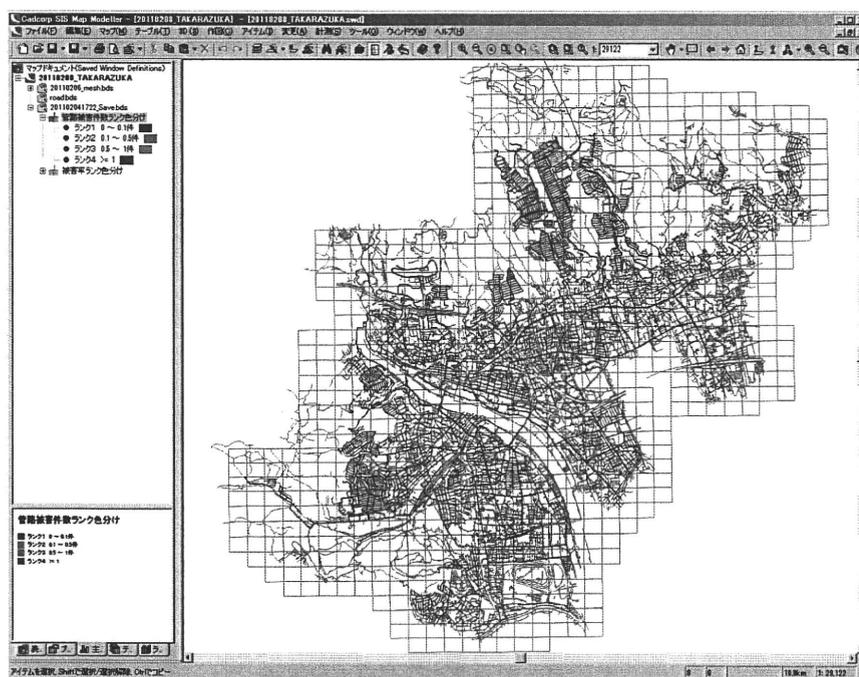


図形とデータベースのリンク

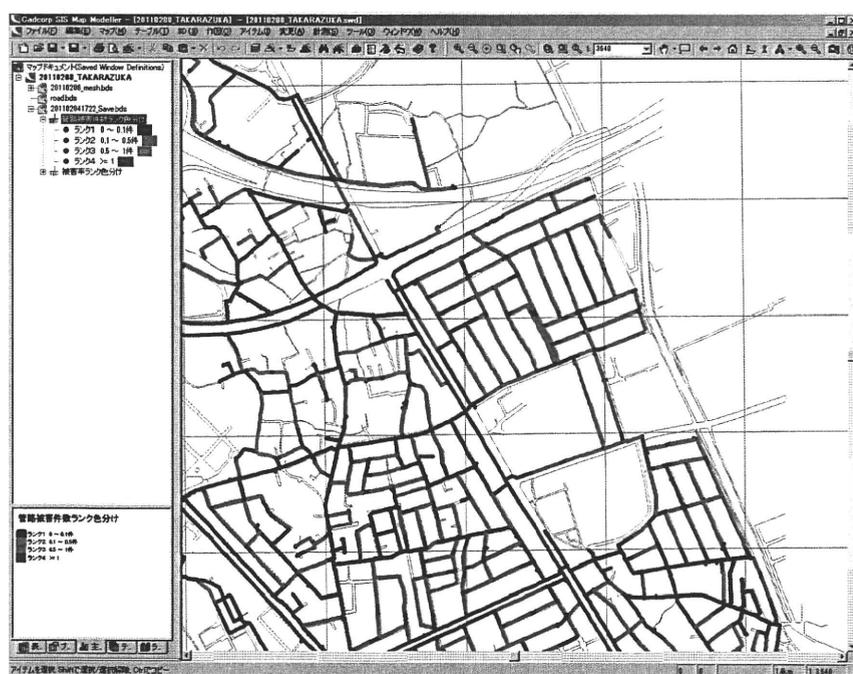
8.3 GIS 上での表現

8.3.1 管路データの表現

管路データの接続したデータベースには、震災時における管路単位の事故率（件/km）と事故件数（件）が計算結果として格納されている。このデータを元に、適当な閾値を設けることによって、色分け表示を行う事が出来る。



管路の震災時事事故件数による色分け表示の例

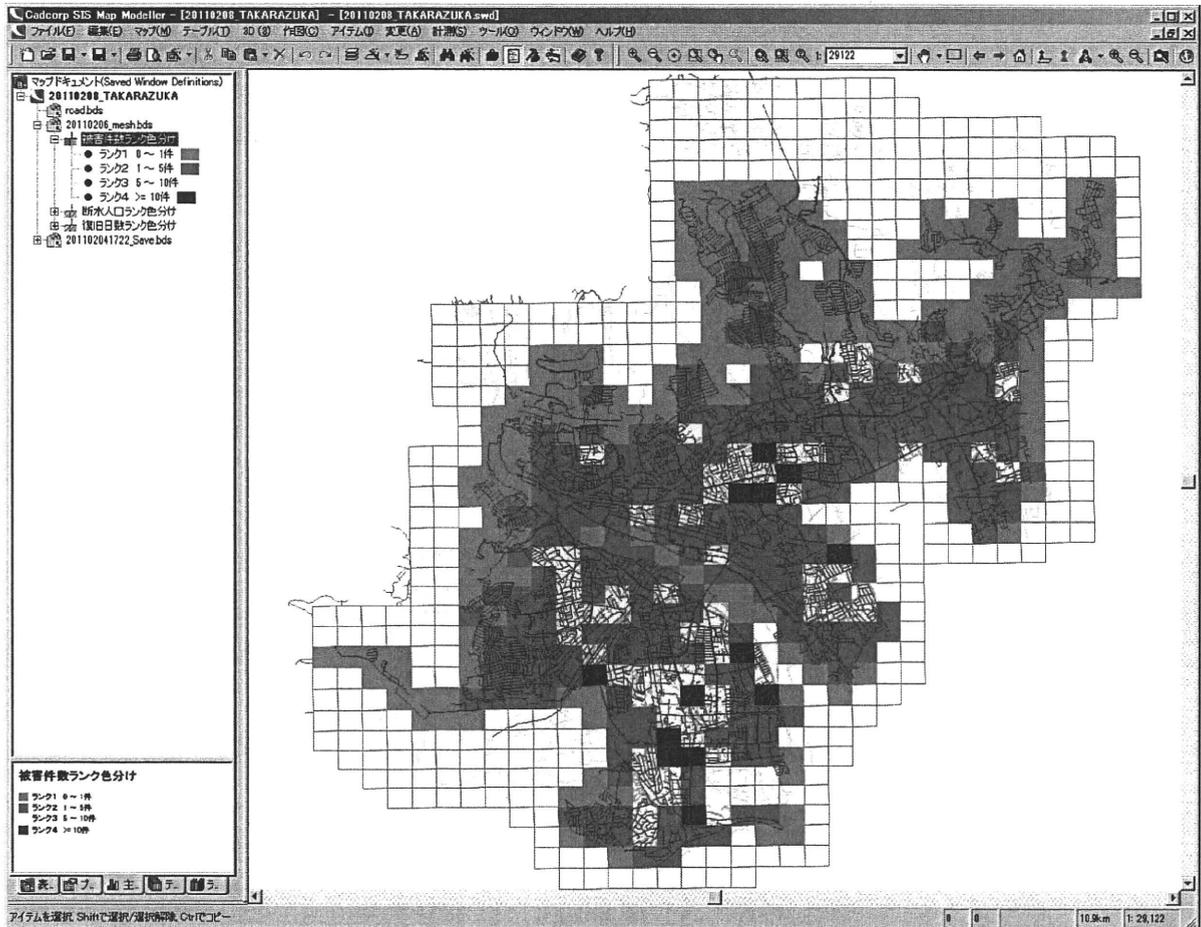


管路の震災時事事故件数による色分け表示の例（拡大）

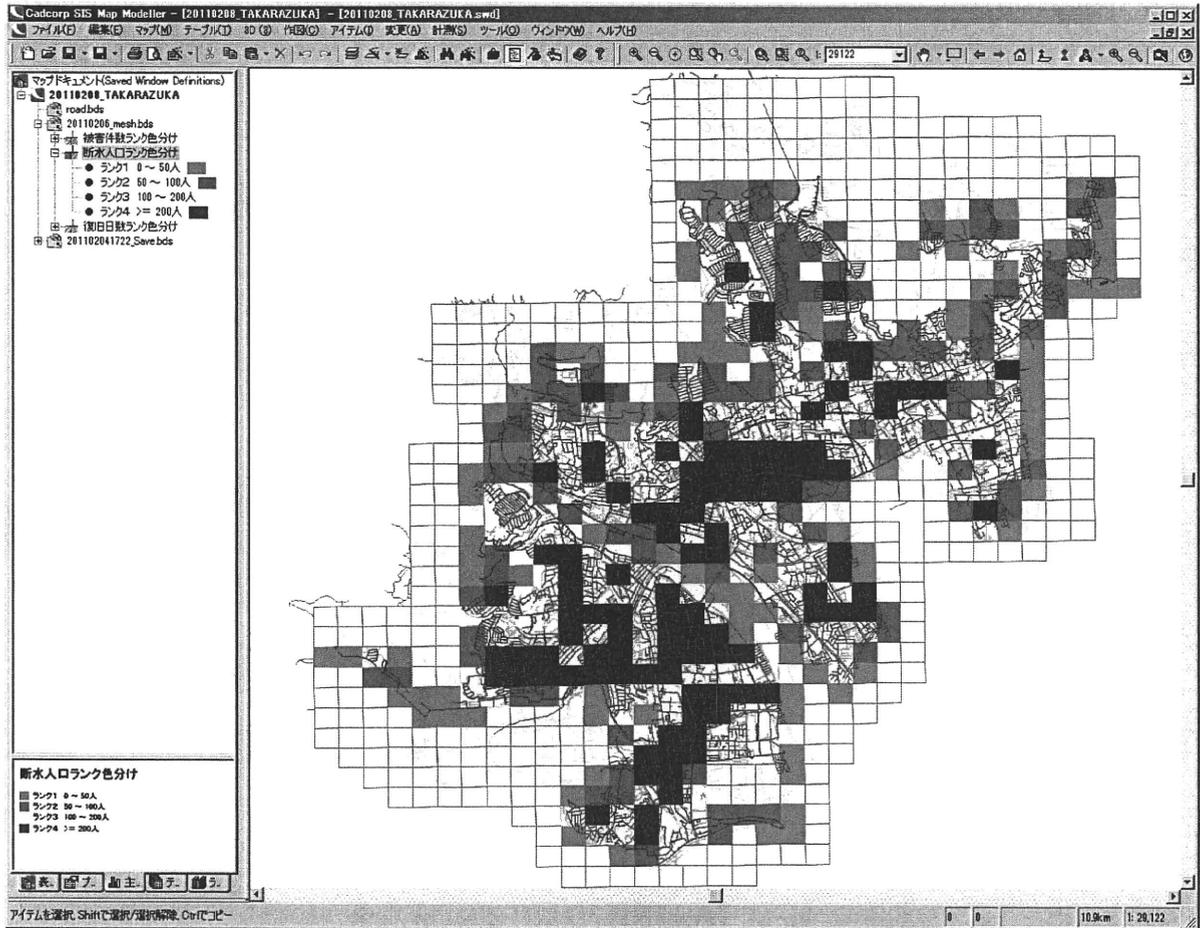
8.3.2 メッシュデータの表現

メッシュコード毎に算出されたデータは、管路データ同様、メッシュ図形とリンクすることによって、メッシュの属性として扱うことが可能になる。

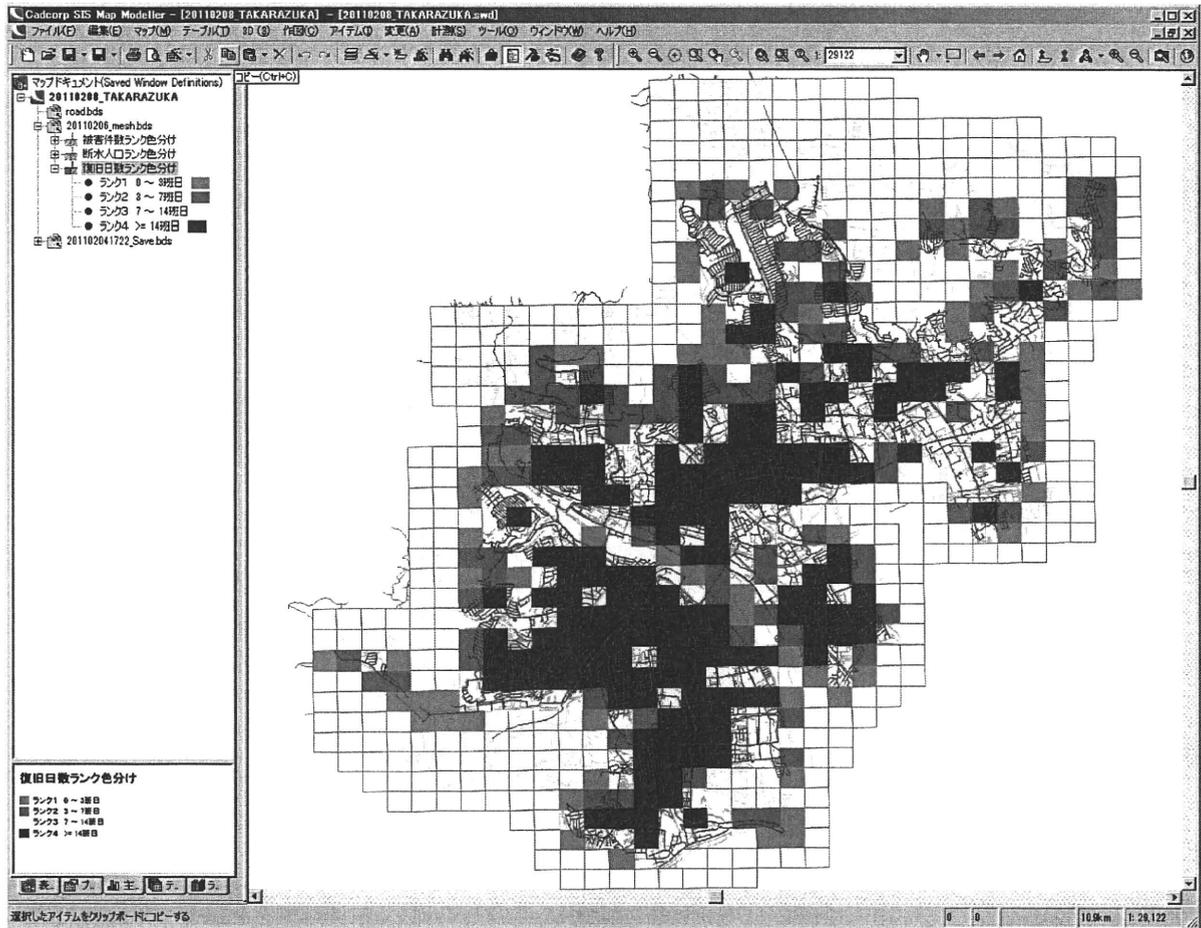
メッシュコード毎のデータでは、管路被害件数（件）、断水家屋数（戸）、復旧日数（班・日）が算出される。以下に、それぞれの表示例を示す。



メッシュ毎事故件数ランク色分け図



メッシュ断水人口ランク色分け図

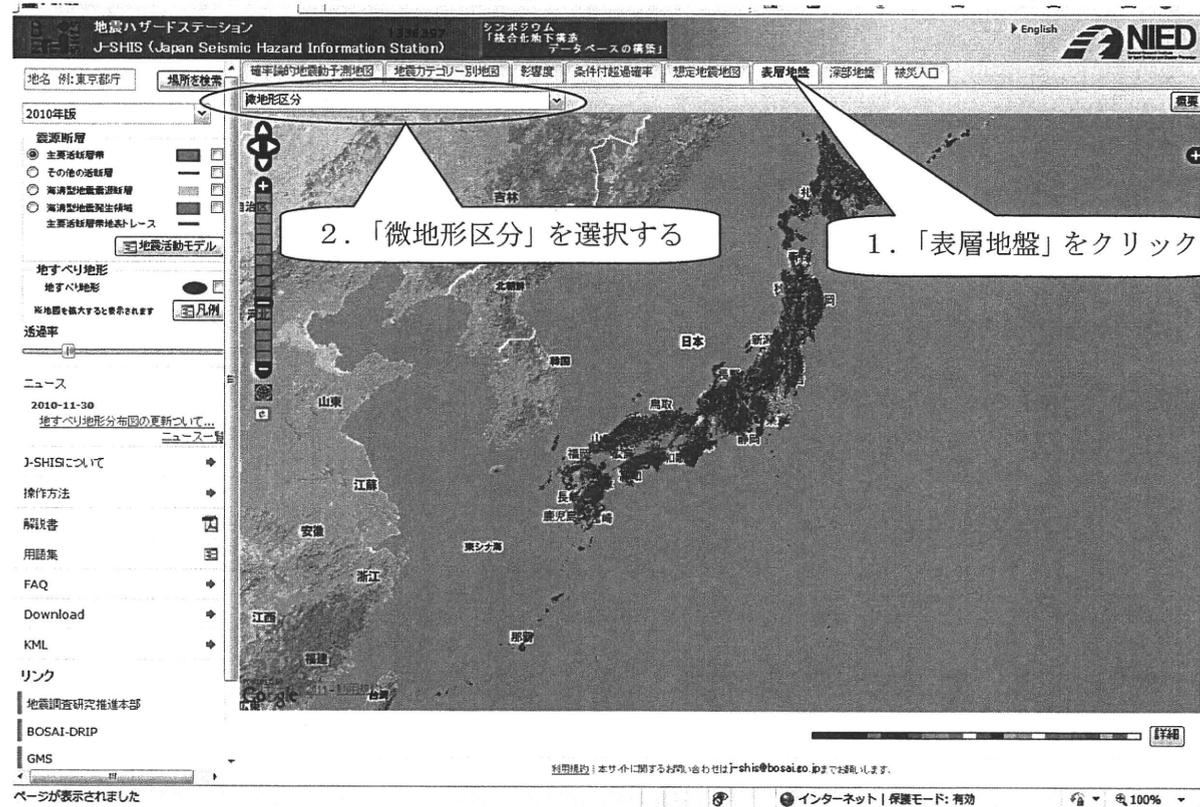


メッシュ復旧日数ランク色分け図

9 参考

○J-SHIS の微地形データの閲覧手順

①J-SHIS (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>) にアクセスし微地形区分を表示する。



②地図の縮尺を調整し、被害予測を行う箇所の微地形分類を確認する。



○J-SHIS からのデータダウンロード手順

①J-SHIS (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>) にアクセスする。

地震ハザードステーション
J-SHIS (Japan Seismic Hazard Information Station)

地名: 例: 東京都庁

2010年版

震源断層
 主要な断層帯
 その他の活断層
 海溝型地震震源断層
 海溝型地震発生機構
 主要な断層帯地殻トレス

地すべり地形
 地すべり地形
 地すべり地形分布図の更新について...

ニュース
2010-11-30
地すべり地形分布図の更新について...

J-SHISについて
 操作方法
 解説書
 用語集
 FAQ
Download
 KML
 リンク

地震調査研究推進本部
BOSAI-DRIP
GMS

「Download」をクリック

②「表層地盤」を選択し、データをダウンロードする。

地震ハザードステーション
J-SHIS (Japan Seismic Hazard Information Station)

データダウンロード

項目

表層地盤

圧縮形式
 zip
 tar.gz

ファイルフォーマット
 CSVファイル
 ジェobufファイル

データ範囲
 1次メッシュ
 全国一括

ダウンロード開始

1. 「表層地盤」を選択

2. ダウンロードするファイルの種類 (CSV かシェープ) を選択する

3. 下の地図より被害予測を行う箇所を選択し 「ダウンロード開始」をクリック

5137N
5138N
5139N
5229N
5231N
5232N
5233N
5234N
5235N
5236N
5237N
5238N
5239N
5240N
5332N
5333N
5334N
5335N
5336N
5337N
5338N
5339N

○紙図面管路図への 250m メッシュの記入について

紙図面へ 250m メッシュを手書きするにあたっては、既存のメッシュ図を参考に記入する。市町村単位で行政区画が記されたメッシュ図の例としては、当センターHP で公開している「全国耐震適合地盤判定マップ(1km メッシュ)」がある。このマップは J-SHIS で公開されている 250m メッシュと同じ座標系(日本測地系)で作成された 1km メッシュ図であり、都道府県ごとの PDF ファイルで公開している。

(全国耐震適合地盤判定マップ <http://www.jwrc-net.or.jp/taishin-corner/hantei.html>)



10 おわりに

※今後記述予定

6. 研究体制

厚生労働科学研究費補助金による
「基幹水道施設の機能診断及び地震による管路被害の予測等に関する研究」

機能診断ワーキンググループ名簿

研究代表者	藤原 正弘	(水道技術研究センター)
研究分担者	谷口 元	(水道技術研究センター)
研究協力者	鎌田 敏郎	(大阪大学)
	坂田 博文	(宇部市ガス水道局)
	牟田 義次	(豊中市上下水道局)
	三浦 正秀	(長崎市上下水道局)
	藤原 敏司	(岡山市水道局)
	坂田 昭典	(神戸市水道局)
	井津元 寛史	(株式会社クボタ)
	岸本 圭司	(株式会社栗本鐵工所)
	木村 雅夫	(クボタシーアイプラテック株式会社)
	小島 賢一郎	(積水化学工業株式会社)
	川口 周作	(日鉄パイプライン株式会社) 平成 20 年度
	青柳 成彰	(日鉄パイプライン株式会社) 平成 21 年度、平成 22 年度
	長嶺 浩	(JFE エンジニアリング株式会社)
	鈴木 泰博	(水道技術研究センター)
	小林 保雄	(水道技術研究センター) 平成 20 年度
	高橋 裕介	(水道技術研究センター) 平成 21 年度、平成 22 年度
	辻 研吾	(水道技術研究センター) 平成 20 年度
	畑中 哲夫	(水道技術研究センター) 平成 20 年度
	名井 孝治	(水道技術研究センター) 平成 20 年度
	長島 昌之	(水道技術研究センター) 平成 20 年度、平成 21 年度
	天野 幹太	(水道技術研究センター) 平成 20 年度、平成 21 年度
	横山 健	(水道技術研究センター) 平成 20 年度、平成 21 年度
	有村 良一	(水道技術研究センター) 平成 20 年度、平成 21 年度
	足立 渉	(水道技術研究センター) 平成 22 年度

地震被害予測ワーキンググループ名簿

研究代表者	藤原 正弘	(水道技術研究センター)
研究分担者	武内 辰夫	(水道技術研究センター)
	宮島 昌克	(金沢大学)
研究協力者	熊木 芳宏	(神戸市水道局) 平成 20 年度、平成 21 年度
	坂田 昭典	(神戸市水道局) 平成 22 年度
	帆苅 洋	(新潟市水道局)
	角田 道夫	(長岡市水道局)
	山田 和正	(呉市水道局)
	井津元 寛史	(株式会社クボタ)
	岸本 圭司	(株式会社栗本鐵工所)
	片桐 信	(クボタシーアイプラテック株式会社) 平成 20 年度
	木村 雅夫	(クボタシーアイプラテック株式会社) 平成 21 年度、平成 22 年度
	伊澤 義博	(フジ地中情報株式会社)
	鈴木 剛史	(積水化学工業株式会社)
	神崎 真美	(日鉄パイプライン株式会社)
	青柳 成彰	(日鉄パイプライン株式会社) 平成 22 年度
	中島 良和	(JFE エンジニアリング株式会社)
	鈴木 泰博	(水道技術研究センター)
	小林 保雄	(水道技術研究センター) 平成 20 年度
	高橋 裕介	(水道技術研究センター) 平成 21 年度、平成 22 年度
	辻 研吾	(水道技術研究センター) 平成 20 年度
	畑中 哲夫	(水道技術研究センター) 平成 20 年度
	名井 孝治	(水道技術研究センター) 平成 20 年度
	長島 昌之	(水道技術研究センター) 平成 20 年度、平成 21 年度
	天野 幹太	(水道技術研究センター) 平成 20 年度、平成 21 年度
	横山 健	(水道技術研究センター) 平成 20 年度、平成 21 年度
	有村 良一	(水道技術研究センター) 平成 20 年度、平成 21 年度
	打越 聡	(水道技術研究センター) 平成 22 年度
	上松瀬 将弘	(水道技術研究センター) 平成 22 年度

